

令和3年度 第3回富田林市認知症条例策定ワーキング 議事要点まとめ

会議名	令和3年度 第3回富田林市認知症条例策定ワーキング
開催日時	令和4年3月12日 土曜日 14:00~15:30
場所	富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階グループ活動室 A・B
配布資料	別紙 次第のとおり

第3回ワーキングでは、市内郵便局職員1名が新たにメンバーとなりました。前回に引き続き、条例のそれぞれの項目について意見交換をし、条例の名称について案を出しあいました。以下、要点をまとめています。

	内容
職業上、認知症の人との関わり	<p>○普段高齢の方と接することの少ない職員もおり、認知症サポーター養成講座を受講して、どのように接したらよいかを学ばせてもらっている。</p> <p>○地域的に高齢化しており、お客さまのほとんどが高齢者である。</p> <p>○認知症であろうお客さまも来局されることがあるため、認知症サポーターとして優しく接するように心がけている。</p> <p>○認知症に関することは、私たちの日常生活に欠かせない事柄だと思う。</p>
第2条 用語の定義 「認知症サポーター」	<p>○「地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする者」の「手助けする」は「ともに支え合う」がよいと思う。</p> <p>○認知症の人や家族も「応援」されても既に頑張っているからそれ以上頑張れないこともある。周りの支えがある方がうれしい。</p> <p>○認知症の人から支えられることは実感しづらいが、生活の中で家族に生きがいを与え、精神的な支えとなっているといえるのではないかな。</p>
第2条 用語の定義 「関係機関」	<p>○「教育施設」「学校」などどこまで広げるか。子どもにも認知症教育をすることをはっきり据えている市もある。小さい時から自分が進む方向性を決める機会を設け、教育機関とともに考えることが必要ではないかな。</p> <p>○人権教育には、認知症になっても自分の歩む道を自分で選択することが大切だということが含まれると思う。</p>
第3条 基本理念	<p>○(3)「地域」を「環境」に代えてはどうか。「地域」の概念が立場により相違があり、あいまいな解釈にならないようにするため。</p>
第8条 地域組織の役割	<p>○「不安をなくす」という表現は最初からネガティブにとらえている。</p> <p>○「人もいい、自然もいい、環境もいい、安心できるコミュニティがある富田林」が好きだと示すのがよいのではないかな。</p> <p>○「地域」とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区や中学校区など組織として活動できる規模の範囲</li> <li>・日頃付き合いのある隣近所。身近な人々の集まり。</li> <li>・実家のある場所や自分の住んでいる場所など関心のあるところ</li> </ul>

令和3年度 第3回富田林市認知症条例策定ワーキング 議事要点まとめ

	<p>○認知症であることを近所の人に話し、地域に溶け込んで話せたらいいと思う。</p>
<p>条例の名称</p>	<p>○「認知症の人とともにつくる希望のまち条例」好きなまちでないに住み続けられない。希望を持てるようなまちであってほしい。市民やみんなが力を合わせて希望を持ってまちづくりを行いたい。</p> <p>○「認知症の人とともに支え合う大好きなまち富田林市認知症条例」誰でもなり得る認知症なので、今は支える側であっても、支えてもらう側になることもある。支え合うという言葉は大切だと思う。</p> <p>○笑顔で暮らせる富田林を実現することを目的とするとなっているが、条例の名称を、「富田林が好き」「住んでよかった」「世代を超えて住み続ける」「好きでやさしいまちづくり」というような表現にしてもらいたい。</p> <p>○「楽しい」「わくわくする」気持ち、そんな言葉が入った名称がよいと思う。</p> <p>○「認知症になっても」というところがネガティブに感じる。「笑い合える」という言葉を入れたい。</p> <p>○「認知症が嫌い」「なりたくない」という気持ちより「認知症になっても(大丈夫)」とすることが大切だと思う。</p> <p>○ポジティブな表現が含まれているとよいと思う。</p> <p>○「認知症になっても笑顔で暮らせる富田林」はこれまで使ってきたスローガンなので、「笑顔」が入っていてよいのではないか。</p> <p>○条例の名称にならない言葉でも前文やキャッチフレーズに活用することができる。名称は条例の顔となり、長く残るものとなるためここでの意見をもとに時間をかけて検討する。</p>
<p>今後の認知症施策</p>	<p>○条例制定を機に、施策を具体的に進めることで市民への周知になる。</p> <p>○具体的に何をどう取り組んでいくのか、話し合える場を作りたい。</p> <p>○認知症関連事業に「D（認知症の英訳『Dementia』の頭文字）」をつけて統一感を持たせている自治体がある。既存の事業を含めてどのように「見せる（PRする）」かが重要なのではないか。</p>